



平成 28 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 三菱食品株式会社  
代表者名 代表取締役社長 井 上 彪  
(コード：7451 東証第一部)  
問合せ先 IR室長 山川 幸樹  
(TEL. 03-3767-5204)

**(訂正・数値データ訂正)「平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について**

平成 28 年 2 月 2 日に公表いたしました「平成 28 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

**1. 訂正の理由**

四半期連結財務諸表における四半期連結損益計算書の記載に一部誤りがありましたので、関連する項目の訂正を行うものであります。

**2. 訂正箇所**

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月2日

上場会社名 三菱食品 株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7451 URL http://www.mitsubishi-shokuhin.com  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 彪  
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山川 幸樹 TEL 03-3767-5204  
四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,828,676	1.4	13,479	24.0	14,904	19.3	11,140	32.8
27年3月期第3四半期	1,802,962	△1.4	10,871	△12.8	12,493	△9.5	8,390	△4.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 12,013百万円(14.6%) 27年3月期第3四半期 10,479百万円(8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	194.96	—
27年3月期第3四半期	146.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	731,223	147,920	20.2	2,588.16
27年3月期	577,191	139,021	23.9	2,416.01

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 147,883百万円 27年3月期 138,052百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
28年3月期	—	21.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350,000	0.5	15,700	2.9	17,500	1.6	11,000	12.8	192.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	58,125,490株	27年3月期	58,125,490株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	987,190株	27年3月期	985,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	57,138,977株	27年3月期3Q	57,140,649株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	9
(1) 品種別売上高明細表	9
(2) 業態別売上高明細表	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～12月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策により緩やかな景気回復基調が継続し、個人消費は所得雇用環境の改善に伴い、総じて底堅い動きとなっているものの、先行きは中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念等もあり、引き続き楽観視できない状況で推移いたしました。

食品流通業界においては、生活者の節約志向が長引くなか、円安や原材料価格の高騰を背景とした食品の相次ぐ値上げ等により生活防衛意識が依然として根強く、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、流通構造の全体最適実現に向け、営業・物流面でのメーカーサポート機能、原料調達、製造過程を含めた商品開発におけるトータルコーディネート機能の強化を図っております。

また、拡大が見込まれる海外市場、EC市場、ウェルネス市場における戦略的な対応を強化するために、昨年4月に「戦略市場本部」を設置し、各分野への取り組みを積極的に推進する体制へと整備いたしました。

加えて、取引先との関係強化を図るとともに、物流費を中心としたコスト削減を継続的に実行することにより、業績の向上を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、一昨年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減からの回復や取引先との関係強化等により、売上高は1兆8,286億76百万円(前年同期比1.4%増加)、営業利益は134億79百万円(前年同期比24.0%増加)、経常利益は149億4百万円(前年同期比19.3%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は111億40百万円(前年同期比32.8%増加)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①加工食品事業

売上高は、消費増税後の反動減からの調味料類等の回復に加え、気温上昇により飲料類が好調に推移したこと等から、増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の増加や販管費削減等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は5,795億13百万円(前年同期比1.9%増加)、営業利益は31億37百万円(前年同期比18.3%増加)となりました。

## ②低温食品事業

売上高は、スーパーマーケット等を中心に取引が総じて堅調に推移したことにより、増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加に伴い販管費は増加したものの、売上総利益の増加等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は7,160億92百万円(前年同期比1.1%増加)、営業利益は86億66百万円(前年同期比23.7%増加)となりました。

## ③酒類事業

売上高は、子会社の異動(株式譲渡)による減少はあったものの、消費増税後の反動減からのビール類を中心とした回復等により、増加いたしました。利益面につきましては、販管費削減を進めたこと等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は3,296億51百万円(前年同期比0.8%増加)、営業利益は8億86百万円(前年同期比76.6%増加)となりました。

## ④菓子事業

売上高は、各小売業態での取引が堅調に推移したことに加え、健康志向を背景にチョコレートやシリアル等が引き続き伸長したことやインバウンド消費効果等もあり、増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の増加に加え、在庫管理精度の向上による改善効果等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は2,020億16百万円(前年同期比2.5%増加)、営業利益は13億51百万円(前年同期比49.0%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が1,540億31百万円増加、負債が1,451億32百万円増加し、純資産が88億99百万円増加いたしました。

総資産及び負債の増加の主な要因は、季節変動等によるものであり、総資産においては「受取手形及び売掛金」が873億32百万円増加、「商品及び製品」が283億11百万円増加し、負債においては「支払手形及び買掛金」が1,458億92百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年5月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は1億43百万円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が1億43百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	402	358
受取手形及び売掛金	268,600	355,933
有価証券	3,500	6,000
商品及び製品	54,075	82,387
原材料及び貯蔵品	53	79
短期貸付金	73,253	104,717
その他	57,003	60,805
貸倒引当金	△82	△79
流動資産合計	456,806	610,201
固定資産		
有形固定資産	67,904	63,781
無形固定資産		
のれん	3,442	3,215
その他	5,316	10,171
無形固定資産合計	8,758	13,387
投資その他の資産		
投資有価証券	26,194	26,171
その他	17,738	17,809
貸倒引当金	△211	△128
投資その他の資産合計	43,722	43,852
固定資産合計	120,385	121,021
資産合計	577,191	731,223
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	360,504	506,396
引当金	2,204	49
その他	53,875	56,845
流動負債合計	416,584	563,291
固定負債		
役員退職慰労引当金	79	72
退職給付に係る負債	11,865	10,822
その他	9,640	9,116
固定負債合計	21,585	20,011
負債合計	438,170	583,302
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	33,244	33,387
利益剰余金	90,752	99,492
自己株式	△2,551	△2,556
株主資本合計	132,075	140,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,406	7,334
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△6	△23
退職給付に係る調整累計額	△422	△381
その他の包括利益累計額合計	5,976	6,929
非支配株主持分	969	37
純資産合計	139,021	147,920
負債純資産合計	577,191	731,223

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,802,962	1,828,676
売上原価	1,678,570	1,700,557
売上総利益	124,392	128,118
販売費及び一般管理費	113,520	114,639
営業利益	10,871	13,479
営業外収益		
受取利息	103	104
受取配当金	540	512
不動産賃貸料	1,203	1,176
その他	1,376	1,018
営業外収益合計	3,223	2,811
営業外費用		
支払利息	99	104
不動産賃貸費用	968	888
その他	534	393
営業外費用合計	1,601	1,386
経常利益	12,493	14,904
特別利益		
投資有価証券売却益	182	1,624
固定資産売却益	76	839
特別利益合計	258	2,464
特別損失		
固定資産売却損	81	0
投資有価証券評価損	0	210
減損損失	194	475
その他	10	31
特別損失合計	287	717
税金等調整前四半期純利益	12,465	16,651
法人税、住民税及び事業税	2,616	4,618
法人税等調整額	1,469	968
法人税等合計	4,085	5,587
四半期純利益	8,379	11,063
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	△76
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,390	11,140



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	8,379	11,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,052	925
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	—	△10
退職給付に係る調整額	44	40
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△5
その他の包括利益合計	2,099	949
四半期包括利益	10,479	12,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,475	12,093
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△79

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	568,822	708,285	327,065	196,997	1,801,171	1,790	—	1,802,962
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,421	4,427	4,606	31	10,487	7,005	△17,492	—
計	570,244	712,712	331,672	197,029	1,811,658	8,796	△17,492	1,802,962
セグメント利益	2,652	7,008	501	907	11,069	76	△273	10,871

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業、物流関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,069
「その他」の区分の利益	76
のれんの償却額	△225
全社費用	△48
四半期連結損益計算書の営業利益	10,871

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	579,513	716,092	329,651	202,016	1,827,274	1,401	—	1,828,676
セグメント間の内部売上高又は振替高	733	110	302	11	1,157	6,693	△7,850	—
計	580,247	716,202	329,953	202,027	1,828,431	8,095	△7,850	1,828,676
セグメント利益	3,137	8,666	886	1,351	14,041	231	△793	13,479

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,041
「その他」の区分の利益	231
のれんの償却額	△223
全社費用	△570
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>13,479</u>

4. 補足情報

(1) 品種別売上高明細表

(百万円未満切捨)

品種	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
缶詰・調味料類	205,773	11.4	210,625	11.5	270,743	11.6
麺・乾物類	114,556	6.4	118,222	6.4	150,634	6.4
嗜好品・飲料類	195,434	10.8	206,143	11.3	252,353	10.8
菓子類	197,885	11.0	203,285	11.1	267,419	11.4
冷凍食品類	333,194	18.5	348,228	19.0	432,593	18.5
チルド食品類	337,665	18.7	321,481	17.6	428,140	18.3
ビール類	173,774	9.6	175,003	9.6	219,116	9.4
その他酒類	151,176	8.4	147,634	8.1	195,423	8.4
その他	93,502	5.2	<u>98,050</u>	5.4	120,829	5.2
合計	1,802,962	100.0	<u>1,828,676</u>	100.0	2,337,252	100.0

(2) 業態別売上高明細表

(百万円未満切捨)

業態	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
卸売	169,004	9.4	<u>163,059</u>	<u>8.9</u>	216,348	9.3
GMS	145,288	8.1	142,709	7.8	188,062	8.1
SM	681,891	37.8	700,772	38.3	890,761	38.1
CVS	535,681	29.7	540,016	29.5	689,436	29.5
ドラッグストア	70,334	3.9	75,311	4.1	92,182	3.9
ユーザー	47,668	2.6	48,271	<u>2.7</u>	62,330	2.7
その他直販 (直販計)	128,868	7.2	134,793	7.4	162,361	6.9
	1,609,733	89.3	1,641,874	<u>89.8</u>	2,085,135	89.2
メーカー・他	24,224	1.3	23,742	1.3	35,769	1.5
合計	1,802,962	100.0	<u>1,828,676</u>	100.0	2,337,252	100.0

(注) 1. GMSはゼネラル・マーチャндаイズ・ストアの略で、総合スーパーであります。

2. SMはスーパーマーケットであります。

3. CVSはコンビニエンスストアであります。

4. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。

(訂正前)

## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月2日

上場会社名 三菱食品 株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7451 URL http://www.mitsubishi-shokuhin.com  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 彪  
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山川 幸樹 TEL 03-3767-5204  
四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,829,330	1.5	13,478	24.0	14,904	19.3	11,140	32.8
27年3月期第3四半期	1,802,962	△1.4	10,871	△12.8	12,493	△9.5	8,390	△4.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 12,013百万円(14.6%) 27年3月期第3四半期 10,479百万円(8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	194.96	—
27年3月期第3四半期	146.84	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	731,223	147,920	20.2	2,588.16
27年3月期	577,191	139,021	23.9	2,416.01

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 147,883百万円 27年3月期 138,052百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
28年3月期	—	21.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350,000	0.5	15,700	2.9	17,500	1.6	11,000	12.8	192.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	58,125,490株	27年3月期	58,125,490株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	987,190株	27年3月期	985,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	57,138,977株	27年3月期3Q	57,140,649株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	9
(1) 品種別売上高明細表	9
(2) 業態別売上高明細表	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～12月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策により緩やかな景気回復基調が継続し、個人消費は所得雇用環境の改善に伴い、総じて底堅い動きとなっているものの、先行きは中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念等もあり、引き続き楽観視できない状況で推移いたしました。

食品流通業界においては、生活者の節約志向が長引くなか、円安や原材料価格の高騰を背景とした食品の相次ぐ値上げ等により生活防衛意識が依然として根強く、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、流通構造の全体最適実現に向け、営業・物流面でのメーカーサポート機能、原料調達、製造過程を含めた商品開発におけるトータルコーディネート機能の強化を図っております。

また、拡大が見込まれる海外市場、EC市場、ウェルネス市場における戦略的な対応を強化するために、昨年4月に「戦略市場本部」を設置し、各分野への取り組みを積極的に推進する体制へと整備いたしました。

加えて、取引先との関係強化を図るとともに、物流費を中心としたコスト削減を継続的に実行することにより、業績の向上を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、一昨年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減からの回復や取引先との関係強化等により、売上高は1兆8,293億30百万円(前年同期比1.5%増加)、営業利益は134億78百万円(前年同期比24.0%増加)、経常利益は149億4百万円(前年同期比19.3%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は111億40百万円(前年同期比32.8%増加)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①加工食品事業

売上高は、消費増税後の反動減からの調味料類等の回復に加え、気温上昇により飲料類が好調に推移したこと等から、増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の増加や販管費削減等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は5,795億13百万円(前年同期比1.9%増加)、営業利益は31億37百万円(前年同期比18.3%増加)となりました。

## ②低温食品事業

売上高は、スーパーマーケット等を中心に取引が総じて堅調に推移したことにより、増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加に伴い販管費は増加したものの、売上総利益の増加等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は7,160億92百万円(前年同期比1.1%増加)、営業利益は86億66百万円(前年同期比23.7%増加)となりました。

## ③酒類事業

売上高は、子会社の異動(株式譲渡)による減少はあったものの、消費増税後の反動減からのビール類を中心とした回復等により、増加いたしました。利益面につきましては、販管費削減を進めたこと等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は3,296億51百万円(前年同期比0.8%増加)、営業利益は8億86百万円(前年同期比76.6%増加)となりました。

## ④菓子事業

売上高は、各小売業態での取引が堅調に推移したことに加え、健康志向を背景にチョコレートやシリアル等が引き続き伸長したことやインバウンド消費効果等もあり、増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の増加に加え、在庫管理精度の向上による改善効果等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は2,020億16百万円(前年同期比2.5%増加)、営業利益は13億51百万円(前年同期比49.0%増加)となりました。



(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が1,540億31百万円増加、負債が1,451億32百万円増加し、純資産が88億99百万円増加いたしました。

総資産及び負債の増加の主な要因は、季節変動等によるものであり、総資産においては「受取手形及び売掛金」が873億32百万円増加、「商品及び製品」が283億11百万円増加し、負債においては「支払手形及び買掛金」が1,458億92百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年5月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は1億43百万円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が1億43百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	402	358
受取手形及び売掛金	268,600	355,933
有価証券	3,500	6,000
商品及び製品	54,075	82,387
原材料及び貯蔵品	53	79
短期貸付金	73,253	104,717
その他	57,003	60,805
貸倒引当金	△82	△79
流動資産合計	456,806	610,201
固定資産		
有形固定資産	67,904	63,781
無形固定資産		
のれん	3,442	3,215
その他	5,316	10,171
無形固定資産合計	8,758	13,387
投資その他の資産		
投資有価証券	26,194	26,171
その他	17,738	17,809
貸倒引当金	△211	△128
投資その他の資産合計	43,722	43,852
固定資産合計	120,385	121,021
資産合計	577,191	731,223
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	360,504	506,396
引当金	2,204	49
その他	53,875	56,845
流動負債合計	416,584	563,291
固定負債		
役員退職慰労引当金	79	72
退職給付に係る負債	11,865	10,822
その他	9,640	9,116
固定負債合計	21,585	20,011
負債合計	438,170	583,302
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	33,244	33,387
利益剰余金	90,752	99,492
自己株式	△2,551	△2,556
株主資本合計	132,075	140,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,406	7,334
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△6	△23
退職給付に係る調整累計額	△422	△381
その他の包括利益累計額合計	5,976	6,929
非支配株主持分	969	37
純資産合計	139,021	147,920
負債純資産合計	577,191	731,223

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,802,962	1,829,330
売上原価	1,678,570	1,701,186
売上総利益	124,392	128,143
販売費及び一般管理費	113,520	114,664
営業利益	10,871	13,478
営業外収益		
受取利息	103	105
受取配当金	540	512
不動産賃貸料	1,203	1,176
その他	1,376	1,018
営業外収益合計	3,223	2,813
営業外費用		
支払利息	99	105
不動産賃貸費用	968	888
その他	534	393
営業外費用合計	1,601	1,387
経常利益	12,493	14,904
特別利益		
投資有価証券売却益	182	1,624
固定資産売却益	76	839
特別利益合計	258	2,464
特別損失		
固定資産売却損	81	0
投資有価証券評価損	0	210
減損損失	194	475
その他	10	31
特別損失合計	287	717
税金等調整前四半期純利益	12,465	16,651
法人税、住民税及び事業税	2,616	4,618
法人税等調整額	1,469	968
法人税等合計	4,085	5,587
四半期純利益	8,379	11,063
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	△76
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,390	11,140

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	8,379	11,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,052	925
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	—	△10
退職給付に係る調整額	44	40
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△5
その他の包括利益合計	2,099	949
四半期包括利益	10,479	12,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,475	12,093
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△79

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	568,822	708,285	327,065	196,997	1,801,171	1,790	—	1,802,962
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,421	4,427	4,606	31	10,487	7,005	△17,492	—
計	570,244	712,712	331,672	197,029	1,811,658	8,796	△17,492	1,802,962
セグメント利益	2,652	7,008	501	907	11,069	76	△273	10,871

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業、物流関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,069
「その他」の区分の利益	76
のれんの償却額	△225
全社費用	△48
四半期連結損益計算書の営業利益	10,871

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	579,513	716,092	329,651	202,016	1,827,274	2,055	—	1,829,330
セグメント間の内部売上高又は振替高	733	110	302	11	1,157	6,040	△7,197	—
計	580,247	716,202	329,953	202,027	1,828,431	8,095	△7,197	1,829,330
セグメント利益	3,137	8,666	886	1,351	14,041	231	△794	13,478

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,041
「その他」の区分の利益	231
のれんの償却額	△223
全社費用	△571
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>13,478</u>

4. 補足情報

(1) 品種別売上高明細表

(百万円未満切捨)

品種	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
缶詰・調味料類	205,773	11.4	210,625	11.5	270,743	11.6
麺・乾物類	114,556	6.4	118,222	6.4	150,634	6.4
嗜好品・飲料類	195,434	10.8	206,143	11.3	252,353	10.8
菓子類	197,885	11.0	203,285	11.1	267,419	11.4
冷凍食品類	333,194	18.5	348,228	19.0	432,593	18.5
チルド食品類	337,665	18.7	321,481	17.6	428,140	18.3
ビール類	173,774	9.6	175,003	9.6	219,116	9.4
その他酒類	151,176	8.4	147,634	8.1	195,423	8.4
その他	93,502	5.2	<u>98,704</u>	5.4	120,829	5.2
合計	1,802,962	100.0	<u>1,829,330</u>	100.0	2,337,252	100.0

(2) 業態別売上高明細表

(百万円未満切捨)

業態	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
卸売	169,004	9.4	<u>163,713</u>	<u>9.0</u>	216,348	9.3
GMS	145,288	8.1	142,709	7.8	188,062	8.1
SM	681,891	37.8	700,772	38.3	890,761	38.1
CVS	535,681	29.7	540,016	29.5	689,436	29.5
ドラッグストア	70,334	3.9	75,311	4.1	92,182	3.9
ユーザー	47,668	2.6	48,271	<u>2.6</u>	62,330	2.7
その他直販 (直販計)	128,868	7.2	134,793	7.4	162,361	6.9
	1,609,733	89.3	1,641,874	<u>89.7</u>	2,085,135	89.2
メーカー・他	24,224	1.3	23,742	1.3	35,769	1.5
合計	1,802,962	100.0	<u>1,829,330</u>	100.0	2,337,252	100.0

(注) 1. GMSはゼネラル・マーチャндаイズ・ストアの略で、総合スーパーであります。

2. SMはスーパーマーケットであります。

3. CVSはコンビニエンスストアであります。

4. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。